

高齢者生活支援策について



安藤真理子議員

質問 本市の65歳以上の人口に對する、「のりあいタクシー土浦」の加入状況等について伺う。また、つくば市では、高齢者が利用するタクシー運賃の一部を助成しているが、本市でも同等の制度を設けることにより、高齢者生活支援の有効な対策になると思われるが、見解を伺う。

保健福祉部長 「のりあいタクシー土浦」の会員数は11月末で527人と着実に増加しており、今後、高齢化の進行に伴い、需要が高まってくると考えている。また、本市では重度障害者の方の外出を支援する事業として、医療機関等へのタクシー料金の一部を助成しているが、高齢者の移動手段として、乗り合いで利用可能な高齢者の方には「のりあいタクシー土浦」が大変有効だと考えていることから、改善すべき点については運営主体である土

浦地区タクシー協同組合と協議しながら、さらに市民の公共の足として定着するように支援してまいりたい。



のりあいタクシー土浦

赤ちゃんの駅の設置について



吉田千鶴子議員

質問 赤ちゃんの駅とは、おむつ替えや授乳するスペースが確保されている公共施設などを言うが、こうした施設を自治体が赤ちゃんの駅として認定し、看板やマーク等を掲げて分かるようにしてはいかがか。見解を伺う。

副市長 本市の施設においては、授乳できる場所が1施設1カ所、ベビーベットが12施設19カ所、おむつ交換台は21施設41カ所整備されている。ま

た、物販店舗については、市内19店舗中授乳場所が5店舗、ベビーベット設置が6店舗となつている。今後さらに民間施設のご協力もいただきながら、安心して外出できる環境整備の推進を図ると同時に、議員ご提案の看板等の案内表示についても検討してまいりたい。

- (掲載以外の質問事項)**
- 一 地球温暖化防止の土浦市のシンボルキャラクター作成について
 - 二 子ども読書活動推進計画策定事業について
 - 四 赤ちゃんマップについて



県の水道水を購入する自治体の長が共同して値下げを申し入れるべきと思うがどうか



古沢喜幸 議員

質問 水道料金を下げるため、県南広域水道に係る自治体の長に対し、共に行動するよう働きかけを行い、水道料金引き下げを茨城県知事に要望していただきたい。

建設部長 現在、県南広域水道用水供給事業の受水団体は、本市を始め、つくば市など9団体である。県から安く受水できれば、それだけ水道料金等を抑えることができるが、県企業局にとつてもこの受水費は重要な収入源であり、安心・安全・安定した生活用水を確保、給水していただくための、浄水場施設整備等に充てられる財源の一部であることをご理解願いたい。しかし、今後において9団体で連携し、県企業局の経営、決算状況、さらには施設整備計画を見極めた上で、値下げが可能な状況になれば、申し入れしていくことを考えている。

- (掲載以外の質問事項)**
- 二 つくば市、笠間市間道路整備促進協議会と土浦市及び石岡市の朝日トンネル整備事業の整合性について
 - 三 緊急一時宿泊所設置について

浸透マスなどの雨水流抑制施設の整備状況について



篠塚昌毅 議員

質問 中村南地区、荒川沖地区、乙戸南地区の住宅密集地の一部では、生活道路の道幅が狭く、道路脇の排水溝が浅いものや蓋がない箇所があり、豪雨時すぐに道路が冠水する状況になっている。そのような箇所には浸透性舗装や浸透マスの設置等が有効と思われるが、現状を伺う。

建設部長 道路新設改良時には、都市型水害対策と、地下水の涵養を図る雨水流抑制対策として、浸透マス設置、浸透性舗装を実施しているところである。南部地区においては、荒川沖東二丁目地内を始め、19カ所を実施しており、今後も引き続き都市型水害対策として予測される場所の選定を行い、雨水流抑制施設の整備に取り組んでまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

- 二 新型インフルエンザ並び